

歌仙 『もののふの』の巻

- 發句 もののふの落ちしてふ徑笹子鳴く  
脇 霸天の歌か止まぬ風  
第三 嵐のち晴の人形活き活きと  
四 そくそくとして迫る義太夫  
五 大屋根に手を掛けむとす蔦紅葉  
六 月時を待つしづむ四阿  
ウ  
一 今年酒打ち上げ祝ふ輪にありて  
二 幼馴染の島人(しまんちゅ)をふと  
三 カラカラと笑ふ素数のやうな齒の  
四 割切れぬ身に君は眩しき  
五 ママからのたんと献金贈与税  
六 月は蚊遣りに燻さるるまま  
七 夕風の山の煙突高すぎて  
八 油の壺にひそむ盗賊  
九 珍客に五右衛門風呂を沸かす役  
十 某三世の裔と申さる  
十一 黄昏の花は若木に囲まれて  
十二 シヤムの子猫の寢息すやすや  
ナオ  
一 春シヨール光の糸で織り上げぬ  
二 虚空仰げば Aurora の帯  
三 Madonna に青大将が手を伸ばし  
四 纏れもつれつ岩陰に消ゆ  
五 さしかかる冬のトンネル遠汽笛  
六 夜の底までひと色の雪  
七 たましひはトラピスチヌへ導かれ  
八 シャンパン蔵の鍵を落す  
九 おめでたの王子はされど賞金王  
十 紙面賑はず禁断の恋  
十一 月も居て「ゴシップガール」見ているよ  
十二 チェンジなる語のそぞろうそ寒  
ナウ  
一 仕分けして御破算とせむ秋の霜  
二 須臾を耀く泡沫の夢  
三 ただ風になりたしと君駆け抜けて  
四 Boys be ambitious! 音吐朗々  
五 牧神の笛ちりちりと花の午後  
六 ニンフ微笑む麗らかな森

真奈 捌

笑 三冬

真奈 初冬

丹仙 雑

悦子 雑

梶 晩秋

重陽 三秋

素蘭 晩秋

笑 雑

真奈 雑

丹仙 雑

悦子 雑

梶 三夏

重陽 晩夏

素蘭 雑

笑 雑

真奈 雑

丹仙 晩春

悦子 晩春

梶 三春

重陽 雑

素蘭 雑

笑 雑

真奈 三冬

丹仙 三冬

笑 雑

梶 雑

重陽 雑

素蘭 雑

悦子 三秋

真奈 晩秋

丹仙 晩秋

笑 雑

梶 雑

重陽 雑

素蘭 晩春

悦子 三春

平成二十一年十一月二十日 起首  
平成二十一年十二月二十九日 満尾